

【 調査結果の概要 】

1 個別対話の実施日

令和3年11月22日（月）から令和3年11月29日（月）まで

2 個別対話の参加事業者数及び主な業種

6グループ、10事業者

（不動産業・物品賃貸業、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業、建設業 など）

※ 主な業種は日本標準産業分類大分類による

3 個別対話の概要（主な意見等）

（1）大音楽堂再整備の提案について

- ・ 施設利用者の利便性向上を図るためには、バックヤードの拡充や控室等の充実、収益施設（レストラン、カフェ等）の併設が有用である。
- ・ 大音楽堂の利用促進のため、コンサート以外にも一般開放を含め多様な利用形態を可能とする施設とすることが望ましい。
- ・ 日比谷公園の持つ価値を向上させるためには、大音楽堂の再整備だけでなく、日比谷公園内や周辺のまちと連携しながら相乗効果を生み出していくべきである。

（2）事業実施条件、事業参加に当たっての課題について

- ・ 初期投資の多寡や利用方法の検討、稼働率に影響するため、屋根の設置に関する条件を明示してほしい。
- ・ 初期投資回収の観点から、事業期間は20年若しくはそれ以上を希望する。
- ・ 現在の大音楽堂は平日のコンサート利用が認められていないことや、現行の使用料が同等規模の音楽施設と比較すると低廉に設定されていることなどから、収益面で課題があり、民間事業者負担の事業となると採算性が低い。

（3）公募選定について

- ・ 複数企業でのグループ参加を検討するため、公募開始から提案まで半年以上の期間を設けてほしい。

参加事業者から頂いた提案内容や意見等については、今後の事業検討の参考とさせていただきます。